

第3章 過去の災害と今後の被害予測

1 管内の過去の災害について

過去の教訓に学び、地域における災害を伝承するホームページ

歴史地震記録に学ぶ 防災・減災サイト

<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>

愛知県地域防災計画（平成27年修正）

<http://www.pref.aichi.jp/bousai/boukei/boukei.htm> より抜粋



管内安城市藤井町にて

	1945 昭和20年 三河地震 ◎三河南部の深溝断層の活動による	1944 昭和19年 昭和東南海地震	1891 明治24年 濃尾地震	1854 嘉永7年 安政東海・南海地震	1707 宝永4年 宝永地震
碧南市 高浜市	建物の全壊・半壊があり、碧南市の大浜地区、西端地区では倒壊家屋が多かったとされています。 高浜市でも新田全般に地盤が沈下しています。	碧南市の西端、旭、棚尾で建物が全壊・半壊しており、田などでは地割れ、泥水の噴出がありました。	油ヶ淵周辺が沈下しています。 碧南市の西端、棚尾、鷲塚では建物の全壊・半壊があったほか、河川堤防が破損しています。	碧南市の油ヶ淵周辺、前浜新田が沈下し、津波が襲来したとされています。	碧南伏見屋新田（碧南市志貴崎町付近）の田畑、堤防、水門等がことごとく壊れています。
刈谷市 知立市	建物の全壊・半壊、地盤沈下が発生しています。 刈谷市では、地震後の大雨の度に水害に見舞われ、新田を中心に被害を受けています。	建物の全壊・半壊、名鉄三河線の破損などが発生しています。 知立市では、道路・堤防等に亀裂が入るなどの被害を受けています。	建物の全壊・半壊、地盤沈下、道路の破損、井戸水の濁りなどが発生しています。	建物の倒壊・破損、新田の堤防の大破、橋の沈下、道路の地割れが発生しています。	
安城市	建物の全壊・半壊が発生しています。	建物の全壊・半壊のほか、道路の亀裂・陥没が発生しています。	建物の全壊・半壊、土地の亀裂・陥没がありました。油ヶ淵沿岸の新田一帯は地盤沈下し、翌年より水災は一層激しくなると伝えられています。	堤防の沈下・亀裂・破損・崩壊があり、堤防が1.5m～1.8m沈下したところもあります。 田畑からの水の噴き出し・陥没・建物の倒壊、水門の破壊がありました。	
豊田市 みよし市	矢作川流域を中心に被害が集中し、家屋の倒壊が多数ありました。	家屋の倒壊のほか、池の決壊が発生しています。	家屋が倒壊・傾斜するものがありました。	この地域でも「前代未聞の大地震」と言われるほどのものであったようで、地元では「拳母大地震」として伝えられています。この地震の際には、家屋の全壊・半壊・大破、石灯籠の倒壊、矢作川をはじめ堤防の決壊・破損が起きています。	

2 今後の被害予測について

平成 26 年 5 月 愛知県防災会議地震部会

「愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査結果」より抜粋

<http://www.pref.aichi.jp/bousai/2014higaiyosoku/whitebooknew2.pdf>

(1) 過去地震最大モデルによる想定

震度、津波高、津波到達時間、浸水面積

	最大震度	最大津波高 (m)	最短津波到着時間 津波高 30 cm の到 着時間 (分)	浸水面積 浸水深 1 cm 以上 (ha)
碧南市	7	3.5	57	1,071
刈谷市	6強	2.0	96	348
安城市	6強	-	-	200
知立市	6弱	-	-	-
高浜市	6強	3.2	77	83
みよし市	6弱	-	-	-

(2) 季節時間帯と想定される被害の特徴

季節時間帯	想定される被害の特徴
①冬深夜 5 時	➤ 県民の多くが自宅で就寝中に被災するため、家屋倒壊による死者が発生する危険性が高く、また津波からの避難が遅れる。
②夏昼 12 時	➤ オフィス、繁華街等に多数の滞留者が集中しており、自宅外で被災するケースが多い。
③冬夕方 18 時	➤ 住宅、飲食店などで火気使用が最も多い時間帯で、出火件数が最も多くなる。 ➤ オフィスや繁華街周辺のほか、ターミナル駅にも滞留者が多数存在する。